

取組事業の要旨		21年度計画	21年度実績	計画 & 実績											
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◇向こう三軒両隣で支え合える地域づくり 1)高齢者・障害者・子育て家庭のふれあいの場、仲間づくりの場の創造(ふれあいサロン、子育てサロン等) 2)高齢者の日常的な見守り活動の推進 3)地域社会の交流の場、支え合い・助け合い活動の推進(地域福祉支援事業・世代間交流等) 4)助け合い運動の推進(福祉バザー、助け合い募金等)		1)地域づくり部会として部会開催を通して、課題の共有と認識を深め、具体的な活動の在り方を探求する。 2)地域活動の多くが各ネットワーク中心の現状を踏まえ、地域づくり部とネットワークとの連携の在り方を探求する。	1)年4回程度の部会開催を計画していたが、コロナ影響に伴う活動自粛により、部会開催は2回に止まった。 2)今年度は役員改選もあり、実質的な部活動スタートが8月にズレ込んだ。次年度への反省としたい。	☆計画 ★実績					☆部会 ★8/1 第1回部会		☆部会 中止		☆部会 中止		☆部会 ★2/12 第2回部会
I.地域福祉バザーの取組み	・地域住民参加型の福祉事業を通じ、助け合う三和の一体感を醸成する。	1)出展品の拡大へ向けた広報活動の工夫検討。 2)従来と一味違うバザーに向けフリーマーケットや憩いの場づくり等、斬新なメニューを検討する。	・市社協より、コロナ感染拡大防止の観点から、福祉バザー開催見合わせの通達。 ・福祉バザーに替えて歳末たすけあい募金への取組みが指示された。 ・歳末たすけあい募金に切り替え取組みを実施。											☆11/6・7福祉バザー (市方針に沿って計画中止) ★10/17付け 募金協力依頼書町会長宛て送付 ★11/27・28 募金回収受付 ★12/10募金集計 集計募金金額261,500円	
II.ふれあいサロン事業	・高齢者、障害者、子育て家庭のふれあいの場、仲間づくりの場を創造していく。	1)現行子育てサロンの内容充実。 2)月次開催の継承および相談事業の強化。 3)利用者拡大へ向けたPR活動の促進。	・コロナ対策として、開催定員の上限(15名)を定めて運営。 ・広報紙「さわかせ」での活動紹介・参加呼び掛けの実施。 ・子育て支援員の改選に伴う組織体制づくり	☆計画 中止	☆ ★5/6	☆ ★6/2	☆ ★7/7	☆ 夏季休止	☆ 中止	☆ ★10/6	☆ ★11/4	☆ ★12/1	☆ 年始休止	☆ ★2/2	☆ ★3/2
III.交流の場(通いの場等)創出による支え合い、助け合い活動の促進	・地域の日常的なふれあいの場を創出し、地域のコミュニケーション力を高める。	・Withコロナ後の地域コミュニケーションの場を如何に形成すべきか、その在り方について各ネットワークとの連携を視野に置きながら検討を進める。	1)極一部のネットワーク・町会を除き、地区内の多くが現状交流事業を見合わせている。 2)今後の再開へ向けた取組みの在り方を引き続き検討していきたい。												
IV.地域福祉事業の推進	・歳末福祉事業を通じた地域福祉の増進。	・歳末福祉事業については、現状、各ネットワークが中心となり、それぞれが企画した取組みを推進。 ・地域づくり部としては、広報活動を通じ、各取組みの紹介と併せて各ネットワークとの連携を深める。	1)養老・海上・光風台のネットワークがそれぞれの企画により、歳末福祉事業を展開した。 2)それぞれの取組み内容を3/2 さわかぜ23号1面にて地域内全戸へ紹介した。										★12月 養老・海上・光風台 各ネットワークが主体的な歳末福祉活動を展開	★3/2 さわかぜ23号1面にて 歳末福祉事業のPR掲載	

←----- 今後、部会を中心に各ネットワークとの連携の在り方について検討を進めたい。 ----->

2021年度事業報告(広報部)

取組事業の要旨		21年度計画	21年度実績	計画 & 実績(見える化)											
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◇三和地区社協広報紙「さわがぜ」の編集・発行	1)地区社協の動向を紙面を通じ地域住民に周知する。 2)紙面を通じ、地域福祉活動への理解と共感を深める。 3)話題性を高め、地域の主体的な自助努力の醸成を目指す。	1)年4回の定期発行(6・9・12・3月)を計画する 2)編集スキルアップへ向けた自主学習会を計画する。 3)発行前段での編集会議を計画し紙面内容の充実を目指す。	1)発効日を民児協月例日に合わせた発行計画とする。 2)自主スキルアップ学習を年1回予定する。 3)編集会議を適宜開催し、記事内容の企画を進める。			☆6/3 20号発行 ☆5/c 学習会 ☆5/10 20号編集会議	☆7/7 20号発行 ☆7/10 学習会 ☆7/4 21号編集会議		☆9/2 21号発行 ☆9/2 21号発行			☆12/2 22号発行 ☆12/2 22号発行		☆1/17 23号編集会議	☆3/2 23号発行 ☆3/2 23号発行
		【第20号】6月発行予定 ☆具体的な記事内容は都度編集会議にて検討する。	【第20号】6月→7月発行へ変更 ◎1面 ・新旧役員交代挨拶 ・新年度役員体制紹介 ◎2面 ・2層協議体フォローアップ研修 ・新役員、理事紹介 ・回願録シリーズ②			☆5/10 編集会議 ☆6/20 最終校正 ☆7/4 仕分け ☆7/7 発行									☆=計画 ★=実績
		【第21号】9月発行予定 ☆具体的な記事内容は都度編集会議にて検討する。	【第21号】9月2日発行 ◎1面<女性リーダー紹介> ・たすけあい三和の紹介 ・子育てサロンの紹介 ◎2面<安心安全部紹介> ・防災意識の普及啓蒙 ・地域自主防災取組み紹介 ・回願録シリーズ③			☆7/4 編集会議 ☆8/19 最終校正 ☆8/29 仕分け ☆9/2 発行									
		【第22号】12月発行予定 ☆具体的な記事内容は都度編集会議にて検討する。	【第22号】12月2日発行 ◎1面<生活支援部特集> ・買い物ツアー取組み紹介 ・老人クラブ連合会三和支部活動紹介 ◎2面<世代間交流紹介> ・ローラルフラッシュ 山倉町会/一の会活動紹介 ・回願録シリーズ④							☆10/16 編集会議 ☆11/20 最終校正 ☆11/28 仕分け ☆12/1 発行					
		【第23号】3月発行予定 ☆具体的な記事内容は都度編集会議にて検討する。	【第23号】3月2日発行 ◎1面<歳末福祉事業特集> ・光風台、養老、海上、各小域福祉ネットワーク歳末事業紹介 ・生活支援部アンケート結果報告 ◎2面<福祉施設紹介> ・地域包括支援センター紹介 ・ローカルフラッシュ 浅井小向自主避難所紹介 ・回願録新シリーズ① 農事組合法人 鈴木敏雄氏										☆1/17 編集会議 ★1/17 編集会議	☆2/8 最終校正	☆3/2 発行

2021 年度 事業報告 (生活支援部)

取組事業の要旨		21年度計画	21年度実績	計画 & 実績												
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
◇基本目標→みんなが自由に楽しく暮らせる地域づくり																
1) 高齢者地域支え合い事業	* 地域包括ケアシステム構築への環境整備	* 高齢者買物支援送迎施策の推進 * 光風台をモデルケースとし、ネットワークと連携し、買い物ツアーの試行に取組む。	①部会の開催 年5回程度の部会開催を予定していたが、コロナの影響に伴う活動自粛により、部会開催は4回となった。 ☆計画 ☆実績			☆部会 ☆6/29 第1回部会		☆部会 中止		☆部会 ☆10/29 第2回部会		☆部会 ☆12/3 第3回部会		☆部会 ☆2/18 第4回部会		
			②買い物ツアーの実施 全9回を計画したが、「まん延防止等重点措置」の発令により内4回は中止。対象者0名による中止が1回となった。 11/11→4名、11/25→2名 12/9→0名、12/23→1名 1/13→1名、1/27・2/10→中止。2/24・3/10→中止 取組み内容をさわかぜ22号1面にて地域内全戸へ紹介した。	対象者の選定:光風台地区ネットワーク 対象者数:6名(1日2回×3名) 実施方法:月2回、1回あたり2便運行 買物先:しげのや光風台店 協力施設(車配車):ケアハウス向日葵	☆計画→☆☆☆☆ ☆実績→☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆
		* 対象地域拡大へ向けた取組みステップの明確化	* 買物支援のニーズ把握のためアンケート調査を実施した。 <調査実施:12月> * 実施方法:各ネットワークへ依頼 * 調査対象:光風台除く以下 市西地区 53名 養老地区 39名 海上地区 42名 計134名 * 結果:移動販売と買物ツアーのニーズがほぼ同様だった。 * 調査結果はさわかぜ23号1面にて地域内全戸へ紹介した。													
2) 地域共助体制支援事業	* 各自治会が地域共助に取組める環境整備	* 地域の協力を得る共助の仕組み研究	<移動販売の運営> * 大桶町会 3ヶ所・川在町会 2ヶ所・新城町会 1ヶ所で実施中。 * この取り組みについては、さわかぜ23号1面にて地域内全戸へ紹介した。													

広報紙さわかぜ22号にて光風台取組み状況をPR

広報紙さわかぜ23号にて調査・集計結果を全戸へ報告

広報紙さわかぜ23号にて移動販売への取組み紹介



- ・アンケート内容の検討
- ・各ネットワークへの依頼
- ・集計・分析

☆3/2

取組事業の要旨		21年度計画	21年度実績	計画 & 実績											
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>◇ 基本目標—みんなが安心・安全に暮らせる地域づくり</p> <p>1) 地域住民の緊急時の対応体制の構築 (緊急時連絡カードの配布・更新)</p> <p>2) 子供の安全・安心を守る活動の推進 (登下校の児童見守り・あいさつ・声掛け運動)</p> <p>3) 地域の安全を守る活動の推進 (危険箇所の点検と改善、防犯パトロール)</p> <p>4) 災害時のたすけあい活動の意識啓もう啓発、災害に強い地域づくり(災害支援ボランティア事業)</p>		<p>1) 市内各地協の取組み情報の収集(市社協との連携)をはかり、三和地区活動の向上に努める。</p> <p>2) 部会の定期開催に注力し、地域の声を安心・安全部の活動に取込む。</p> <p>3) 地域の防災意識の高揚を目指し、町会長会と連携した合同防災研修会を企画する。</p>	<p>1) 情報収集活動は計画に反し取組むことが出来なかった。</p> <p>2) 部会の定期開催についても初回以降見送りとなった。</p> <p>3) 合同研修会は、参加人員の関係および開催場所等含め現実的な対応困難との判断により、開催中止とした。</p>	<p>☆部会 ★7/30 №1部会</p> <p>☆部会 中止</p> <p>☆部会 中止</p> <p>☆合同研修 中止</p>											
I. 地域の安心・安全を守る事業	<p>1) 医療緊急時連絡カードの地区内全戸配布・更新を進める。</p> <p>2) 高齢者宅への定期訪問活動を通じ、安心して生活できる地域づくりを進める。</p> <p>3) 地域内の危険箇所等の点検活動を通じ、その改善に努める。</p>	<p>・2018年度に策定された三和地区行動計画に沿って、左記事業は各ネットワークの主体的な取組みとして定着するに至っている。</p> <p>・したがって、安心安全部の機能としては、各ネットワークおよび安全施策に係わる団体との連携を主体とし、地区全体としての取組み状況をまとめることで、各活動の継続的な推進に努めるものとする。</p>	<p>I-1) 医療緊急時連絡カードの更新取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養老地区→106戸更新 ・市西地区→75戸更新 ・海上地区→7戸更新 ・光風台地区→? *地区全体→ <p>I-2) 安心生活見守り事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養老地区→? ・市西地区→370回/9月末現在 ・海上地区→209回/1月末現在 ・光風台地区→? *地区全体→ <p>I-3) 地域安産点検活動</p> <ul style="list-style-type: none"> *実質的活動に至らなかった。 <p>II-1) 児童登下校見守り事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養老地区→15回/年 ・市西地区→1012回/年 ・海上地区→14回/年 ・光風台地区→? *地区全体→ <p>II-2) 防犯パトロール</p>	<p><医療緊急時連絡カード更新></p> <p>更新時期は異なるものの各ネットワーク単位で事業計画</p> <p>市西地区更新事業展開</p> <p>海上地区更新事業展開</p> <p>養老地区更新事業展開</p> <p><安心生活見守り事業></p> <p>各ネットワーク単位で1~2回の見守り訪問事業を計画</p> <p>地区全体としては 回/年/延べの訪問活動を展開</p> <p><児童登下校見守り事業></p> <p>各ネットワーク単位で毎月次の登校見守り事業を計画</p> <p>地区全体としては 回/年/延べの見守り活動を展開</p>											
II. 子供の安全を守る事業	<p>1) 児童の安全確保を目的に登下校時の見守り活動に取組む。</p> <p>2) 防犯パトロール展開により、児童の安全確保に努める。</p>														
III. 災害支援ボランティア事業	<p>・災害時のたすけあい活動へ向けて、防災意識の啓発を目的とした学習活動を進める。</p>	<p>・地域防災の観点から町会長会との連携に基づき、地域防災研修を企画し、取組むこととする。</p>	<p>* 社協・町会長会との合同防災研修は、コロナ感染拡大防止の観点から開催を中止した。</p> <p>* 防災意識の啓発活動として、広報紙による防災啓蒙記事掲載。</p>	<p>★9/1 さわかぜ21号</p> <p>自主防災会を組織し、町会として防災活動に積極的に取組んでいる事例紹介として、新生町会の取組みを掲載し、啓蒙活動の一助とした。</p> <p>市原市危機管理課の呼びかけに呼応し、地域自主避難所として自治会館を登録した浅井小向町会の事例を紹介。啓蒙活動の一助とした。</p> <p>★町会長連合会との合同防災研修を計画。コロナ感染防止により開催見送りとした。</p> <p>★3/2 さわかぜ23号</p>											

取組事業の要旨		21年度計画	21年度実績	計画 & 実績																								
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月													
<p>◇現行三和地区行動計画基本理念『みんながつながる、支え合い・助け合う三和をつくろう』</p> <p><この基本理念に基づき下記を推進事業の柱とした活動を推進></p> <p>◇公的サービスではまかないきれない日常生活上の生活課題を解決するために、有償による住民相互のたすけあい運動に取組み、住民参加型の地域福祉活動を推進する。</p>		<p>1) 下記、21年度の具体的な取組みを推進するにあたり、部会を基軸とする。</p> <p>2) 市内各地協の取組状況を部会・役員会へ反映し、活動の質的向上に努める。</p>	<p>1) 情報伝達と意思疎通を目的に4回/年の部会開催に取組んだ。</p> <p>2) 8月部会はコロナ影響から9月開催へと変更し実施した。</p> <p>☆計画 ★実績</p>	<p>☆部会</p> <p>☆部会</p> <p>☆部会</p> <p>★6/19部会</p> <p>★9/14部会(中止)</p> <p>★10/12部会(中止)</p> <p>★3/9部会</p>																								
		<p>I. たすけあい支援部員当番制による受付業務の継承</p>	<p>1) 登録部員13名中、11名で受付シフトを組み、月・水・金の9時～14時半での受付業務に対応した。(131名/年/延べ人員)</p> <p>2) 8月中旬より9月一杯はコロナ対応として受付業務を休止した。</p>	<p>月別受付業務対応人員(月累計)</p> <p>月別受付業務対応時間(月累計) <1h未満四捨五入></p>																								
		<p>II. つなぐ』を基調に住居依頼を各コーディネータと調整。</p> <p>* コーディネータ不足を課題に対策を推進する。</p>	<p>1) 21年度依頼に基づく作業件数(コーディネイト件数)は、124件(対前年12件増)となった。</p> <p>2) 支援員(現在75名)の年間稼働人員累計は218人。月均等人員は18.16人が稼働。</p>	<p>月別作業件数 <コーディネイト件数></p> <p>月別支援員延べ稼働人員</p>																								
		<p>III. 依頼内容の分析に基づく今後の対応課題を整理する。</p> <p>* 制度利用者拡大に向けたPR促進施策を広報部と連携する。</p>	<p>1) 21年度の利用会員は170名(対前年14名増加)</p> <p>2) 地区別の状況は右表の通り</p> <p>3) 作業依頼内容の内訳分類は3月の年間ベースに基づき、分析の上、次年度の活動に反映させる。</p>	<p><地区別利用会員・支援会員・作業件数一覧></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>市西</th> <th>養老</th> <th>海上</th> <th>光風台</th> <th>地区計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用会員数</td> <td>33</td> <td>28</td> <td>11</td> <td>98</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>支援会員数</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>27</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>作業件数</td> <td>48</td> <td>16</td> <td>4</td> <td>61</td> <td>129</td> </tr> </tbody> </table> <p>★9/1</p> <p>広報紙さわかせ第21号にてたすけあい支援部の活動PRを9月に実施した。</p>		市西	養老	海上	光風台	地区計	利用会員数	33	28	11	98	170	支援会員数	17	17	13	27	74	作業件数	48	16	4	61	129
	市西	養老	海上	光風台	地区計																							
利用会員数	33	28	11	98	170																							
支援会員数	17	17	13	27	74																							
作業件数	48	16	4	61	129																							
		<p>IV. 市原市第6次地域福祉活動計画の求めに応じ、新たな取組みの在り方について、研鑽に努める。</p>	<p>* 本来ならば、第6次市原市福祉活動計画の内容を念頭に次年度への課題整理に取組むべきであったが、そこまでの取組みに至らなかった。</p> <p>* 次年度へ課題として繰越すことにした。</p>	<p>★3/3 市社協研修参加</p> <p>3/3、市社協主催の研修会(日常生活担い手養成講座)に参加し、当地区の「たすけあい三和」の事業紹介を実施した。</p>																								

取組事業の要旨		21年度計画	21年度実績	計画 & 実績											
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◇ネットワークを構成する地区13町会と連携し、小域圏における地域福祉事業を促進する ◇具体的な地域福祉事業は、児童・高齢者の見守り活動を基軸とし、以下、4点を事業の基軸とする	1)地域住民への福祉に資する諸施策の企画・立案・推進 2)小域圏である市西小学校と連携した児童福祉対策推進 3)高齢者の健康寿命促進を念頭に、福祉サービスの提供とその質的向上を目指す	1)各事業の推進に向け、以下の会議体を運営する。 ①役員会 ②推進委員会 ③町会長会議 ④ネットワーク協力員会議	①役員会開催→5回/年(☆計画 ☆実績)→ ②推進委員会開催→3回/年 ③町会長会議→3/19予定 ④ネットワーク協力員会議(7/25の開催を中止)	☆役員会 ★4/24 ☆役員会 ★6/20 ☆推進委員会 ★5/23 ☆ネットワーク協力員会議 (7/25 予定するも中止とした)						☆役員会 ★11/20 ☆推進委員会 ★10/17 ☆推進委員会 ★12/19		☆役員会 ★1/30 町会長会議 ☆ 3/19予定	☆役員会 ★2/13		
I.児童福祉事業	◇学区である市西小学校と連携した児童福祉施策の推進。	1)児童登下校時見守り活動 *児童登下校時、挨拶運動と併せた見守り活動を実施 2)学校・PTAと連携した環境美化作業の取組み 3)学校行事と連携した児童福祉活動の促進	1)児童登下校見守り活動 2)環境美化(5/15実施) PTAと連携した除草作業 3)小野山ゴロゴロ会中止 伝承遊び10/27実施 PTA協力事業バザー中止	☆見守り ← 年間を通した登下校時の見守り・声掛け活動 → ☆見守り ← 登下校時の見守り時、挨拶運動としての声掛け活動実施 → ☆ 5/15 奉仕除草作業 ☆ 計画通り実施(小域ネット6名参加) ☆7/18小野山ゴロゴロ会(そうめん流し)計画中止 ☆10/27伝承遊び実施(小域ネット7名参加) ☆11/5~6 PTA協力事業バザー(中止)											
II.地域福祉事業	◇緊急時連絡カードの更新常備	1)常備状況の点検・確認 2)不足カードの補充	*カード記載内容の変更点検追加更新の取組み展開結果13町会中7町会更新申請有 Total対応数 ・カード配布数 →76枚 ・保管筒 →17本 ・表示ステッカー →24枚	← → ← → (カード・保管筒・ステッカー更新配布)											
III.高齢者福祉事業	◇安心生活見守り訪問制度の推進	1)新規見守り訪問員認定講習 2)見守り訪問活動の進捗管理 3)訪問員フォローアップ研修の企画・実践	1)認定講習(対象者 名) 2)高齢者見守り活動継続 ・現行訪問員数21名 ・現行訪問対象者数56名 ・延べ訪問回数749回	☆認定講習 → ☆ 認定講習 名受講 ☆見守り ← 各町会訪問員単位で月1~2回の見守りを計画 → ☆見守り ☆訪問 ← (安心生活見守り訪問活動継続実施) → ☆訪問 (延べ訪問回数749回/年) ☆訪問員フォローアップ研修は中止した。											
IV.地域活性化事業	◇地域の声を傾聴し、新たな地域ニーズに応える事業計画の創成に努める ◇町会単位の「通いの場」を地域の絆を強める取組みと位置付け継続と質的向上を目指す	1)地区の会議体におけるニーズの把握 2)社協各部との連携に基づく地域活性化事業の創成に努める	◇社協生活支援部と連携し、高齢者福祉ニーズアンケート調査を実施 ◇調査結果による買い物支援策については22年度の課題へ反映する	☆通いの場 ← 各町会単位の主体的運営により計画開催する → ☆通いの場 ← 取組み町会の主体的運営により継続取組み →						☆福祉ニーズ調査 ☆調査 ☆調査のまとめと報告(結果は次年度活動に活かす)					

2021年度事業報告(養老小域福祉ネットワーク)

取組事業の要旨		21年度計画	21年度実績	計画 & 実績											
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◇養老小学校区小域福祉ネットワークとして、10町会の連携強化の下、学童および地域住民の福祉の向上に取組む。 ◇具体的な地域福祉施策として、以下、4点を事業の柱とする。	1)地域住民への福祉に資する諸施策の企画・立案・推進 2)学区である養老小学校と連携した児童福祉施策の推進 3)高齢者への福祉サービスの提供と健康寿命の伸長を目指す。	1)各事業の推進に向け、以下の会議体を運営する。 ①小学校との連携協議 ②役員会(5回/年) ③推進委員会(5回/年)	①学校各事業に関し、小学校との事前協議を実施。 ②役員会は5回の計画に対し、2回の開催に止まった。 ③推進委員会についても同様年初に於ける書面審議による議決のみとなった。	★4/17 №1 役員会 ★=計画 ★=実績		★6/12 №2 役員会 (中止)			★9/26 №3 役員会 (中止)	★10/9 臨時役員会	★11/20 №4 役員会 (中止)			★2/12 №5 役員会 (中止)	★3/6 №3 推進委員会 (中止)
I.児童福祉事業	◇学区である養老小学校と連携した児童福祉施策の推進。	1)児童登校見守りを月次ベースで実施する。 2)学校・PTAと連携し、環境美化作業に取組む。	1)児童登校見守り21年度の取組み(15回) 2)学校環境美化作業については、5月・8月の計画はコロナ対応から中止となった。	★見守り★ ★4/6.7.9.12.13 ★5/10 ★6/10 ★7/9 ★5/15 環境美化作業 (中止)		★ ★6/10 ★7/9	★ ★8/30 (夏休明け)	★ ★9/10	★ ★10/13	★ ★11/10	★ ★12/10	★ ★1/6 (冬休明け)	★ ★2/10 中止	★ ★3/10	
II.地域福祉事業	◇医療・緊急カードの常備推進	1)各町会単位で医療緊急カード更新案内を回覧する。 2)追加・更新の要請に基づきカード・保管筒・表示ステッカーを配布する。	1)計画に基づく各町会点検結果、それぞれ下記の数量を配布した。 ・連絡カード→106枚 ・ステッカー→90枚 ・保管筒 →79本							★11初旬 各町会ごとに更新の案内を回覧(カードその他の配布は都度) ★11末 更新状況の最終まとめ実施					
III.高齢者福祉事業	◇安心生活見守り訪問制度の遂行	1)新規訪問員認定講習実施。 2)訪問員活動報告の集計。 3)訪問員フォローアップ研修の実施。	1)新規訪問員2名に対する認定講習(6/12)実施。 2)地区全体での各戸訪問回数実績値は534件/年/延べ。 3)12月予定していた訪問員フォローアップ研修は中止した。	★訪問員認定講習 ★6/12(2名受講) 訪問員認定講習											★訪問員フォローアップ研修感染症対策として中止とした。
IV.地域活性化事業	◇「よろう絆の会」として、歳末福祉事業を企画・実践する	1)「よろう絆の会」として、歳末福祉事業の企画。 2)具体的取組み内容の確認。 3)事業申請ならびに実践。 4)生活支援部と連携した高齢者福祉ニーズ調査への協力	1)10/9臨時役員会を開催。(歳末福祉事業内容検討) 2)検討結果に基づく具体的取組内容の説明展開(11/27) 3)12/19各町会長・民生委員高齢者宅訪問。同時にアンケート調査を実施。						★10/9 臨時役員会→歳末福祉事業実施内容検討 ★11/27 対町会長・民生委員への内容説明・協力要請 ★12/19 高齢者宅訪問「よろう絆の会」取組み展開 ★12/19～生活支援部連携アンケート調査実施						

2021年度事業報告(光風台ネットワーク部)

取組事業の要旨		21年度計画	21年度実績	計画 & 実績(見える化)												
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
◇ネットワークを構成する地区14町会と連携し、小域圏における地域福祉事業を促進する ◇具体的な地域福祉事業は、児童・高齢者の見守り活動を基軸とし、以下、4点を事業の枢軸とする	1)地域住民への福祉に資する諸施策の企画・立案・推進 ①小学校との連携協働 ②役員会(5回/年) ③推進委員会(5回/年)	1)各事業の推進に向け、以下の会艦体を運営する。 ①小学校との連携協働 ②役員会(5回/年) ③推進委員会(4回/年)	①学校各事業に関し、小学校との事前協議を実施。 ②役員会は5回の計画に対し、8回開催した。 ③推進委員会は、4回開催のうち2回書面審議による議決を行った		★4/24 No1推進委員会中止		★7/11 No2推進委員会			10/24					3/7 役員会	
I. 児童福祉事業	◇学区である光風台小学校と連携した児童福祉施策の推進。 ◇校庭の美化運動	1)児童登校見守りを月次ベースで実施する。 2)学校・PTAと連携し、環境美化作業に取り組む。	1)児童登校見守り 21年度の取り組み(15回) 2)学校環境美化作業については5月・8月の計画はコロナ対応から中止となった。 見守り者にベスト10着購入													
II. 地域福祉事業	◇医療・緊急カードの常備推進 ◇福祉講座の開催	1)各町会単位で医療緊急カード更新案内を回覧する。 新型コロナウイルス感染拡大の為、中止	1)計画に基づく各町会点検結果、下記の枚数を配布した。・緊急連絡カード→14町会に 約8416枚配布した													
III. 高齢者福祉事業	1)通いの場事業「光風台ふれあいサロン」の支援 2)通いの場事業「丘の上サロン」の支援 クリスマスのお菓子宅配	1)月に4回程度光風台自治会館で実施 軽い体操、筋トレ、脳トレ等 等	1)新規訪問員2名に対する認定講習(6/12)実施。													
IV. 地域活性化事業	◇光風台団地ないの迷惑駐車追放運動の実施 ◇移動販売「ふれあい便」	迷惑路上駐車追放チラシ、ポスターの作成	毎週月曜日販売													

☆=計画
★=実績

6/14
書面決議

→ 美化運動

→ 7/22から配布

7/12

市原市危機管理課 12/5変更

← ふれあいサロン・丘の上サロン

→
12/18~12/24
クリスマスのお菓子

→
10/10
回覧掲示